派 遣 報 告 書 (報 告 者 ; 矢 田 啓 一 郎)

大会名	第56回マクドナルド全国ミニバスケットボール大会
開催地	東京都 国立代々木第一体育館
日 時	令和7年3月29日(土)～31日(月)
担当ゲーム	田布施ミニバスケットボールスポーツ少年団(山口県) vs 造道ミニバスケットボールクラブ(青森県)
クルー	CC: 矢田 啓一郎(大分県) U1: 今井康輔(栃木県B級)
Pre-Game Conference	
☐ 2POメカニクスの確認 ☐ ゲーム中の情報共有 ☐ プライマリエリアの確認	
Post-Game Conference	
☐ 互いにプライマリーを意識しながらレフリングできた。 ☐ ベンチからのアピールがあった際、CCとしてコミュニケーションをとりながら対応することができた。 ☐ メインタイマーがリセットされ、正確な時間が示せなかったことが反省である。しっかりと管理しなければならない。	
担当ゲーム	富田ミニバスケットボールクラブ(三重県) vs 豊浦スポーツ少年団(山口県)
クルー	CC: 矢田 啓一郎(大分県) U1: 小西由依(滋賀県B級)
Pre-Game Conference	
☐ テンポセットの確認 ☐ 3番エリア付近の2 or 3といったゲーム中の意思疎通 ☐ 両チームのKey-Playerの確認	
Post-Game Conference	
☐ テンポセットができ、コンタクトの中でイリーガルなところはしっかりと取りあげることができた。 ☐ 一方のコーチとコミュニケーションをとる時間が長く感じた。端的にしなければならなかった。 ☐ 24秒が短いというアピールがあり、実際短かったように思う。またしてもタイマーの管理ができなかった。	
担当ゲーム	RBCスポーツ少年団(群馬県) vs SHINO SPARTANS U-12(京都府)
クルー	CC: 矢田啓一郎(大分県) U1: 熊野悠生(山口県B級)
Pre-Game Conference	
☐ プライマリエリアの確認 ☐ メインタイマー・24秒の管理 ☐ リードのスイッチサイド	
Post-Game Conference	
☐ 6番エリアベースライン際のアウトオブバウンズの判定が難しかったが、クルーと協力して判定することができた。 ☐ プレカンファレンスでタイマー・24秒の管理をきちんと行うことを確認したが、実際に協力しながら行うことができた。	

○ファウルの判定も互いにペイシエント・ホイッスルを意識しながら判定することができた。

今大会に参加しての感想など

初の全国大会でしたが、気張らずいつも通りのレフリングができました。というのも、私よりかなり年齢の若い方ばかりでしたので、落ち着いて試合に入ることができたからだと思います。若いとは言え、みなさんしっかりとレフリングをされていて、とても感心させられました。とてもよい刺激をもらいました。

全国大会を通して、

- ・メインタイマー、24秒の管理
- ・アウトオブバウンズの判定
- ・ペイシエント、ケイデンスホイッスルの技術

が私の課題であると痛感しました。これからしっかりと2POにおいて課題が解決できるようにしていきたいし、2POでしっかりと吹いてこそ3POにつながると思うので、さらなる研鑽に励みたいと思います。

最後になりますが、今回の派遣にあたり、大分県バスケットボール協会の皆様、また、大会運営にご尽力いただいた皆様に心から感謝し、報告とさせていただきます。